

# 教育同窓会 会報

- ・教育学部
- ・人間社会学域  
学校教育学類
- ・大学院教育学研究科
- ・養護教諭特別別科

発行：金沢大学 教育同窓会事務局

第2号 2012.3.21



## 大学院教育学研究科 「教育実践高度化専攻」 について

大学院教育学研究科長  
大久保 英哲  
(教育同窓会顧問)

### ■パイロット・モデル

世界では様々な職業が高度な専門職によって担われる形にシフトしています。医師はもとより、薬剤師、法律家、ビジネス、エンジニアを目指す人々も大学院レベルの高度なトレーニングを積んでから職業に就き、教員も大学院を卒業してからというのがすでに先進国家の国際的な潮流になっています。わが国でも平成18年、中央教育審議会答申「今後の教員養成・免許制度のあり方」のなかで、教員養成を抜本的に改革し、これからの教員は大学院レベルで養成するという方向性が明確に打ち出されました。

もちろん現行の法律では、教員免許を取得できる大学で所定の単位を取得し卒業すれば、教員免許を取得できるわけで、それらの人々が多数を占めることは当面変わらないでしょう。金沢大学では平成20年度から3学域16学類のひとつに教員養成を任務とする「学校教育学類」（入学定員100名）を創設しましたが、それは、そのようなベーシックな社会的要請に応えるためです。一方、将来を見据えて、大学院教育学研究科を学校教育学類の教員養成（4年間）と連動しつつ、より高度な教員養成を2年間で行う教育実践高度化専攻（入学定員35名）として平成21年度に改組しました。いわゆる4プラス2と呼ばれる教員養成に取り組む全国初の修士課程パイロット・モデルとして注目されているところです。

### ■理論と実践の架橋

大学院での2年間の教員養成にはどんな特色があるのでしょうか。単なる4年間の繰り返しや延長でよいはずがありません。私たちはそれを2つのキーワードで考えています。一つ目は「理論と実践の架橋」です。金沢大学は総合大学と

して文系・理系・医薬系にわたる諸分野の大学院を包括しています。その中で教育学研究科は、教育の理論と実践を架橋する研究と教育を固有のミッションとするという考え方を明確に打ち出し、学校現場を教育と研究の場、いわば実験室とすることにしました。必修科目「教育実践基礎研究」「応用研究」では、すべての大学院生と専任教員が幼稚園・小学校・中学校、高校、特別支援学校等に出向いて、様々な教科の授業研究に参加し、観察・検討・分析を行っています。平成22年度日本教科教育学会シンポジウムでこの試みが取り上げられ、「優れた教育実践・授業」を担保する教員養成の画期的な試みとして大きな反響を呼びました。

### ■創造的な教師

「理論と実践の架橋」と並ぶもう一つのキーワードは「創造的(クリエイティブ)な教師」です。大学院修了にふさわしい「高度な教員」の内容には、時代とともに変化する社会や学校を取り巻く状況、児童生徒の変化に対応した新しい教育を主体的に創造し得る見識と教育力を持った教師が求められます。そうした力量形成に結びつけるカリキュラムのひとつとして、私たちが平成24年度から試行しようとしている「教育実践高度化プロジェクト研究」を紹介します。これは一言でいえば、「海外の学校での教育実践」です。そこでは教育活動の基礎理論や応用力、教育実践力、教育法規や規範意識、専門的知識や技能、実践と省察する力、リーダーシップや協調性、国際的な意識、異文化理解、語学力も含めたコミュニケーションと対話力などが総合的に問い直されることになるでしょう。そのような経験が創造的な教師を作り出す原動力になるのではないかと考えています。予算や法律、さらには安全面での問題など、解決しなければならぬ課題は山積しており、当面は毎年数名程度の試行にとどまらざるを得ませんが、21世紀を支える教員養成をめざした本研究科の新たな取り組みにご注目いただきたいと思います。

終わりに、同窓生の皆様ご自身の、あるいは関係の皆様の本研究科への入学や研修も歓迎いたしております。ぜひご検討ください。

# 平成23年 教育同窓会 代議員会 開催

日時：2011.11.20(日)  
13:30～15:00  
会場：金沢大学  
西町サテライトプラザ

平成23年教育同窓会代議員会が、11月20日(日)に開催されました。

岩田靖夫会長の開会の挨拶のあと、報告事項に移り、澤野事務局長より会務報告と会計報告(別表参照)、正見監事より監査報告があり、承認されました。会務報告・会計報告では、22年入学生から終身同窓会費を納入して頂いたこと、会報を発行し、全会員や在学生、教育系教官に配布したこと、卒業生に同窓会からのお祝いとして図書カードを贈ったことなど、同窓会の新しい事業について説明がありました。

また、会長からは金沢大学学友会設立に至るまでの経緯や、学友会の目的、設立総会開催などについて報告がありました。

協議事項として、次の4点について審議し、提案通り承認されました。

## 【同窓会事業】

- ・会報発行(3月) ・卒業祝い品贈呈(3月)
- ・名簿の整備(通年)

## 【同窓会会計を維持するための方策】

事業を今後も継続していく資金を確保するために次のことを行う。

- ①一般会員に一口1,000円以上の臨時会費納入を依頼する。
- ②新入生の会費未納者に対する働きかけを今後も続ける。

## 【役員改選】

3月で現在の役員の任期が終了するため、4月に役員改選を行うための準備を進める。併せて各支部の代議員の改選も行う。新役員は次回の代議員会で承認される。

## 【規約改正】

教育同窓会規約では、会員に大学教官が含まれていないことから、他学部同窓会規約を参考にしながら規約の見直しを進める。

最後に、平田副会長より閉会の挨拶があり、23年代議員会を閉じました

## 金沢大学教育同窓会 会計決算報告 (H21.4～23.7)

### 【収入】

項目	金額(円)	備考
1 繰越金	841,100	教育学部卒業生名簿作成委員会より引継
2 会費	1,770,200	22年度入学生87名分
3 利子	1,358	
合計	2,612,658	

### 【支出】

項目	金額(円)	備考
1 会議費	4,932	幹事会、代議員会
2 通信費	76,585	会議連絡・会費納入依頼・など
3 事務用品費	13,762	封筒、宛名シール、印刷用紙 など
4 分担金	20,000	ホームカミングデイ分担金
5 印刷発送費	1,400,100	会報No1、封筒印刷、会報発送
6 慶祝費	246,000	22年度卒業祝い図書カード
7 その他	40,840	会費免除者返金
合計	1,802,229	

収入総額 2,612,658円 - 支出総額 1,802,229円 = 810,429円  
【差引残高】 810,429円は23年度事業に繰り越し

## 金沢大学学友会 設立総会 設立記念パーティ 開催

11月5日(土)、第5回金沢大学ホームカミングデイ歓迎式典に先立ち、金沢大学学友会設立総会が角間キャンパスで開催され、教育同窓会からは28名が参加しました。

これまで金沢大学の学部・学域を越えた全学同窓会がなかったことから、大学が創基150年を迎えるのを機に、学友会が設立されました。

学友会は卒業生の交流・親睦や大学の発展、社会への貢献を目的としています。教育同窓会は他学部の同窓会と共に、学友会の基幹同窓会として学友会を支えていくこととなります。

学友会を構成するものに登録同窓会があります。研究室同窓会や年次同期会、地域同窓会、サークル同窓会などが登録をし、卒業生が縦横のつながりを強めていくことが期待されます。

設立記念パーティは、会場を金沢城内の五十間長屋に移して行われ、教育同窓会からは8名が参加しました。

学友会長 深山 彬 氏(法文学部卒)の挨拶や、邦楽サークルの演奏がありました。最後に四高同窓会の音頭で四高寮歌を全員で高らかに歌うなど、懐かしい城内で学友会の新しい門出を祝いました。



# 教育学部 学科・課程の変遷

金沢大学が2008(H20)年に、学部・学科を大幅に改組し、3学域16学類になりました。教育学部はどうなったのか、教員養成はどこで行われているのかという疑問が多く寄せられます。

そこで、今回は1949(S24)年に、金沢大学が開学し、石川師範学校を受け継ぐ形でスタートした教育学部が、どのような変遷をたどったのか、図にまとめてみました。金沢大学50年史部局編から作成したもので、呼称や年次に間違いがありましたらお許し下さい。

教育学部の変遷を見ると、大きな変化は1962年

と1973年、1996年にあり、名称や課程の改編が行われています。ただ、図では分からないのですが、1989年にできた総合科学課程とスポーツ科学課程は、教員免許の取得を大学卒業要件としない、いわゆる「ゼロ免」課程です。このあたりから教員養成を主たる使命としてきた教育学部の在り方が変化してきたと言えるかも知れません。

現在、教員養成は主に人間社会学域学校教育学類で行われており、募集定員は100名となっています。

金沢大学教育学部 学科・課程の変遷					(金沢大学50年史 部局編 より作成)								
年次	第一部甲類 小学校 (4年課程)	第一部乙類 小学校 (2年課程)	第二部甲類 中学校 (4年課程)	第二部乙類 中学校 (2年課程)	第三部 高校 保健体育 (4年課程)	金沢大学石川師範学校		金沢大学石川青年師範学校					
1949 S24						豊学校教員養成課程 (小2年課程) (中2年課程)			特別教科 体育科 (中高校 4年課程)				
1950 S25													
1951 S26													
1952 S27													
1953 S28													
1954 S29													
1955 S30													
1956 S31													
1957 S32													
1958 S33													
1959 S34													
1960 S35													
1961 S36													
1962 S37	初等教育科	中等教育科	中等教育科	中等教育科	体育科 (高校 保健体育)	豊教育科 (2年課程)							
1963 S38													
1964 S39													
1965 S40													
1966 S41													
1967 S42													
1968 S43													
1969 S44													
1970 S45													
1971 S46													
1972 S47													
1973 S48													
1974 S49													
1975 S50													
1976 S51													
1977 S52													
1978 S53													
1979 S54													
1980 S55	小学校教員養成課程		中学校教員養成課程		高等学校 教員養成 課程 (保健体育)	豊学校教員 養成課程 (4年課程)	養護教育科 (初等部 中等部)	言語障害 児教育 教員養成 課程 (1年)	特別教科 (中高校 保健体育) 教員養成 課程				
1981 S56													
1982 S57													
1983 S58													
1984 S59													
1985 S60													
1986 S61													
1987 S62													
1988 S63													
1989 H1													
1990 H2													
1991 H3													
1992 H4	総合科学課程												
1993 H5													
1994 H6													
1995 H7													
1996 H8													
1997 H9													
1998 H10													
1999 H11													
2000 H12													
2001 H13	人間環境課程		学校教育教員養成課程			障害児教育教員養成課程							
2002 H14													
2003 H15													
2004 H16													
2005 H17													
2006 H18													
2007 H19													
2008 H20	2008年 3学域16学類に改組												
2009 H21	人間社会学域 地域創造学類												
2010 H22	国際学類へ												
2011 H23													
2012 H24													

# 金沢大学教育学部 38会 開催

2011年5月24日(火)

KKRホテル金沢

「金沢大学教育学部38会」は、昭和38年に学窓を離れた教育学部初等教育科卒業生で組織される同期会です。(三八豪雪に因み、通称「サンパチ会」)

若葉の茂る平成23年5月下旬、「KKRホテル金沢」を会場に、第6回同期会を開催しました。すでに、前回の関東地区会(平成21年5月、横浜市で開催)で金沢開催が確認されており、再開が待たれていたところです。

当日は15時から受付を行い、27名の参加を見ました。日程等の確認を済ませ、早速会場近辺の散策に出かけました。金沢城公園では、ボランティアガイド「まいどさん」のガイドにより城内を一巡しました。近年の城内整備で建造された建物や、調査整備中の庭園跡、特徴とされる石垣等の説明を受けました。学窓を去って、はや半世紀を経ており、以前から残されている建造物に、薄れ掛けた思い出を辿ったり、堀や石垣の構え、遠望する市街地に学生時代の生活をダブらせて往時を偲びました。

懇親会は、記念写真撮影、物故者への黙とう、

開会挨拶へと進んだあと、乾杯となりました。近況報告に頷いたり、余興も入って思い思いに時を愉しみ、再会を堪能しました。最後に、唱歌“ふるさと”を全員で合唱し、想いを残して集いを終えました。

翌日は、朝食後、次回の同期会開催を確認して解散しました。希望により、黒門前緑地、しいのき迎賓館、21世紀美術館へと散策の足を延ばしました。



## ☆☆☆学友支援室からのお知らせ☆☆☆



### 「金沢大学学友会」設立

第5回ホームカミングデイ開催日の2011年11月5日、金沢大学学友会(学友会)が設立されました。初代会長には深山彬氏(金沢商工会議所会頭; S38年法文卒)が選出され、教育同窓会からは、岩田靖夫会長が副会長に、澤野等事務局長が理事に、野村祐治監事が監事にそれぞれ選出されました。

(学友支援ニュース・レター第32号, 同33号)

→ [http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad\\_gakuyu/news\\_letter/newsNo.32.pdf](http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_gakuyu/news_letter/newsNo.32.pdf)

[http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad\\_gakuyu/news\\_letter/newsNo.33.pdf](http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_gakuyu/news_letter/newsNo.33.pdf)

学友会に未登録の教室等の同窓会は、ぜひ登録願います。

### 第6回ホームカミングデイ 平成24年11月10日(土)

例年、金大祭期間(10月下旬から11月上旬)の土曜日に開催してきた「金沢大学ホームカミングデイ」は、今年は11月3日(土)が「文化の日」と重なって地域の諸行事が集中することとなるため翌週の11月10日(土)開催となり、開催プログラムの時間枠設定案が発表されました。

(学友支援ニュース・レター第34号)

→ [http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad\\_gakuyu/news\\_letter/newsNo.34.pdf](http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_gakuyu/news_letter/newsNo.34.pdf)

また、創基150年記念式典・祝賀会は、5月30日(水)午後、ホテル日航金沢を会場に開催されることになりました。

## お願いとご案内

- ★同期会や研究室の同窓会などの開催予定や開催報告を、下記の事務局までお寄せ下さい。
- ★同窓会を開催するにあたって、名簿などの情報が必要でしたら、事務局までお問い合わせ下さい。

【事務局】 〒920-1192 金沢市角間町  
金沢大学事務局 学友支援室内  
TEL 076-264-5081  
[gakuyu@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:gakuyu@adm.kanazawa-u.ac.jp)  
事務局長:澤野 等(Tel.076-262-5804)

## 編集後記

教員養成は大学の組織だけではなく、その内容も年々改善されています。会報で教員養成のプログラムを紹介できればと思います。

同窓会代議員会報告にもありましたように、今後も定期的に会報発行などの事業を継続するには、同窓会予算に余裕がありません。現状ではいつ中断せざるを得なくなるか気懸かりです。会員の皆様には、同封の振込用紙で一口1,000円以上の臨時会費納入にご協力くださいますようお願いいたします。(事務局長 澤野 記)